

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。  
すっかり田植えも終わった頃でしょうか。皆様いかがお過ごしでしょうか。  
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、  
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。  
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、  
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

- 1 ナチュラルグリーンライト取材
- 2 イベント情報

■ 1 ■ ナチュラルグリーンライト取材

・ナチュラルグリーンライトとは

農家「忙しいときに手伝ってくれる人がいればいいのに」

消費者「この美味しい野菜を作ってくださっている人の力になればいいのに」

そんな両者の思いをつなげる仕組みを作った方がいます。ナチュラルグリーンライトの見掛加奈さんです。見掛さんはもともと土や畑とは無縁の生活をされていましたが、自然災害や食品の安全性が揺らぐニュースを見聞きし「お金があってもいざという時お金は食べられない。労働の対価として直接ものを手に入れる仕組みや、安全な食べ物を手に入れられる仕組みが必要だ」と感じ、2014年から奈良市田原地区にある自然農法の「田原ナチュラル・ファーム」へ農作業の手伝いに行くようになりました。

「とにかく畑に行ってみよう」というところからのスタートでしたが、初めて体験する農作業は意外なほど爽快で、達成感もあり、やみつきになったそうです。しかし何度もお手伝いに行くうちに、地元農家さんの「お金にならないから子どもが後を継がずに街へ出ていく」「自分が年をとってできなくなったら終わり」というような話をよく耳にするようになります。実際、耕作放棄地もどんどん増えています。「農」という人の命を支える仕事に携わる人たちがこのような希望のない状況に置かれていて、いったい私たちはこれから誰に食べ物を頼ればいいのか

だろうか。そう思った見掛さんは、農薬を使わない安全な野菜を買いたい消費者と、労働力がほしい農家をつなげる仕組みをつくることを思いつきました。

ナチュラルグリーンライトの仕組みは簡単にいうと、消費者（畑ヘルパー）が農作業を手伝い、その対価を農家が「野菜で」支払う、というものです。端境期など野菜のないときは「野菜チケット」で支払うことも可能です。この「野菜チケット」は少しお得に野菜と交換できるチケットで、これを介在させることでみんなが幸せな仕組みをつくることができます。つまり、畑ヘルパーは農作業を手伝う対価として野菜 or 野菜チケットを受け取り **HAPPY**、農家は現金ではなく野菜 or 野菜チケットで支払うことで金銭的な負担が軽くなり **HAPPY**、ナチュラルグリーンライトは、畑ヘルパー斡旋料として農家から「野菜チケット」を受け取り、これを消費者に買ってもらうことで収益となり **HAPPY**、買うだけの購入者は野菜チケットでお得に野菜を手に入れ **HAPPY** というわけです。

この仕組みを始めるにあたり、問題点は大きく2つありました。1つは、畑ヘルパーが労働力として役に立つのかという点です。素人がいきなり来てどれだけ役に立つ働きができるのか、体験気分に来て手伝うつもりでかえって邪魔になることがあっては意味がありません。その点は、イベント等でのお試し的な農体験で、体力面など判断してもらったり、手伝いに行く農家を限定し、その農家のやり方に早く慣れてもらう工夫をしています。実際に受け入れてくださった農家さんからは、「助かった、有難い、また来てもらいたい」との感想をいただき、継続して畑ヘルパーを派遣できています。もう1つは、労働と対価のバランスです。これは、対価の農産物の満足と共に畑ヘルパーさん自身が日頃の運動不足やストレスを解消して元気になるというメリットもあることが分かって来ました。畑ヘルパーさんからは「継続して手伝いたい。」と仰っていただいています。

#### ・夢につながるためのポリシー

ナチュラルグリーンライトのポリシーは、畑ヘルパーや購入者に渡す農作物を、自然農法または有機栽培のものに限っていることです。これは、環境負荷の少ない自然農法や有機栽培の農地面積を増やし、ゆくゆくは田原の地が農薬、化学肥料、除草剤を使わない農産物の供給基地・安心のブランド地域になることを夢見ているからです。まずは畑ヘルパーに渡す分から広がれば良いと考えています。そして農薬を使わない農法は、経費を削減し、従事者の健康被害も防ぎます。農業が元気で活気ある仕事になることで、若者が農業につけるようになり土地を離れなくて済む。そうやって、田原の地を活性化するのが夢です。そして、これは田原だけでなく日本中が同じような問題に直面しています。循環型の農業を拓け

ること、消費者と生産者がお互い顔の見える関係を築くこと、顔が見えるだけでなくさらにもう一歩。そんな仕組みで膠着した問題に取り組もうとしています。

・今後の課題

現在は、まだ試行段階です。協力してくれる農家の拡大と、興味を持ってくれる消費者の拡大も課題です。里山体験や、農体験などのイベント、自然農法の野菜やお米を使った料理教室なども開催し、輪を広げようとしています。畑でその場で採った野菜を使ったピクルス作りは大変喜ばれ、まずはおいしさを知ってもらうことが大切だと感じています。いままで農に関わったこともなく、体力にも自信のない、女性である見掛さん自身が「こんな私でもできる作業、続けられるペース」をいわば自分を実験台にしながら仕組みを練り上げているところです。主婦の人がスーパーへ買い物に行くように畑に来て、2～3時間手伝いをして野菜やお米などを持って帰れる、そんな無理なく続く仕組みにしたいと考えています。

---

■ 2 ■ イベント情報

---

◇森の集い

日時：2016年6月4日（土）、5日（日）10:00～17:00

場所：春日野園地・春日山原始林

詳細：<http://morinotsudo.org/>

◇朝市 de 給食交流会

日時：7月16日（土）10:00～12:00

場所：奈良県農民連北和センター

詳細：チラシ添付

※ナチュラルグリーンライト、宇陀ランチ・プロジェクトの皆さまも参加予定！

---

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元：きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）

E-mail：[oishiikyusyoku@gmail.com](mailto:oishiikyusyoku@gmail.com)

facebook：<https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局：生活協同組合コープ自然派奈良内（奈良市今市町40-1）

---